

原市場聖書教会

NO. 807

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 9. 20

主日礼拝

2020年 9月 20日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：本多節子姉
 パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：本多守兄

賛	美	「目を離さずに」	—	同
祈	り		司 会	者
今月の賛美		「ゆるがない岩」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	聖歌332番「かいぬしなる主よ」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			本多守兄	
賛	美	聖歌404番「イエスはなれをよびたもう」	—	同
聖書朗読		ローマ15章22節～33節	司 会	者
説	教	「福音宣教に必要なもの」	若村和仁師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌528番「いまだ見ぬ地」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若村和仁師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会 者	

●コロナウィルス感染が落ち着くまで
 昼食会はお休みいたします。



「福音宣教に必要なもの」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

ローマ15章22節～33節

- 22, そういうわけで、私は、あなたがたのところに行くのを何度も妨げられてきました。
- 23, しかし今は、もうこの地方に私が働くべき場所はありません。また、イスパニアに行く場合は、あなたがたのところ立ち寄ることを長年切望してきたので、
- 24, 旅の途中であなたがたを訪問し、しばらくの間あなたがたとともにいて、まず心を満たされてから、あなたがたに送られてイスパニアに行きたいと願っています。
- 25, しかし今は、聖徒たちに奉仕するために、私はエルサレムに行きます。
- 26, それは、マケドニアとアカイアの人々が、エルサレムの聖徒たちの中の貧しい人たちのために、喜んで援助をすることにしたからです。
- 27, 彼らは喜んでそうすることにしたのですが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。
- 28, それで私はこのことを済ませ、彼らにこの実を確かに渡してから、あなたがたのところを通過してイスパニアに行くことにします。
- 29, あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満ちあふれて行くことになると思っています。
- 30, 兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によってお願いします。私のために、私とともに力を尽くして、神に祈ってください。
- 31, 私がユダヤにいる不信仰な人々から救い出され、エルサレムに対する私の奉仕が聖徒たちに受け入れられるように、
- 32, また、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところに行き、あなたがたとともに、憩いを得ることができるよう、祈ってください。
- 33, どうか、平和の神が、あなたがたすべてとともにいてくださいますように。アーメン。

今月の賛美

ゆるがない岩

作詞・作曲 Samuelle

Vocal $\text{♩} = 65$

め の ま え が い ま く ら く
て も た だ あ な た を し ん じ ま
す こ こ ろ の な か が つ ら く
て も た だ あ な た を も と め ま
す あ な た は ひ か り と な り わ た し
に き ぼ う く れ る あ な た は と こ し え に
か わ ら な い ゆ る が な い い い わ

目の前が 今 暗くても
ただ あなたを 信じます

心の中が 辛(つら)くても
ただ あなたを 求めます

あなたは 光となり
私に 希望くれる
あなたは とこしえに
変わらない ゆるがない岩

涙が溢(あふ)れ 挫(くじ)けても
ただ あなたを 讃(たた)えます

歩き疲れて 倒れても
ただ あなたに 頼ります

あなたは 光となり
私に 希望くれる
あなたは とこしえに
変わらない ゆるがない岩

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

先週のまとめ、パウロが福音をくまなく伝える為に大切にしていた4つのポイントを以下から学んだ。

1. 互いにリスペクトし互いに学び合うことができると相手を立て寄り添うことから始めた。
2. 異邦人の救いの為にキリストに仕える者となった。
3. キリストが私を用いたこと以外あえて語らなかった。
4. パウロはキリストの名が語られていない場所に宣べ伝える使命を持っていた。

この4つのポイントから、謙虚に人々に寄り添い、福音をくまなく伝えるパウロの姿を学びました。
本日は、さらに福音宣教の為に必要なものとしてパウロがたてた計画（ビジョン）から学びます。

1. パウロの長期ビジョン（地の果てまでの伝道計画）22節～24節

パウロは20節で「ほかの人が据えた土台の上に建てないように、キリストの名がまだかたられていない場所に福音を宣べ伝えること」を求め計画を進めてきた。その理由は、21節で「彼のことを告げられていなかった人々が見るようになり、聞いたことのなかった人々が悟るようになるために」の旧約聖書を通して語られた神の言葉に従った姿だったのである。しかし、23節「長年切望してきた」と語られているように、パウロの地の果てまでの伝道計画は長期の計画となっていた。このローマ人への手紙は、パウロがコリントにいた時に書かれたと言われている。パウロが異邦人伝道をする中で建てあげたコリントの教会は、異邦人クリスチャンと、ユダヤ人クリスチャンとの問題。また、偶像に満ちた地域だった為、クリスチャンとして生きていくにあたっての様々な問題が散在していた。パウロは、その多くの問題解決に時間を使い、人々に寄り添いキリストの愛を宣べ伝えてきたのであった。その結果、22節で語るように、「あなたがたのところ（ローマの人々）に行くのを何度も妨げられてきました」のであった。その為、第一の目的であった地の果てまでの伝道の旅がなかなか進まなかったのである。しかし、いよいよ23節で「もうこの地方に私が働くべき場所はありません。」と語られています。これはいよいよこの地域ではもう福音を語りつくした。と語る。これは、ローマ帝国の東側地区で福音宣教は語り終えたということであった。パウロはもう開拓する場所は無いということほど語りつくしたのであった。24節後半で語られているように、イスパニア（現代のイタリア）これは、この当時ローマ帝国の西の果てであった。この地域はいよいよ福音を宣べ伝えに行きたいと願っている。このようなパウロの未開地への伝道のビジョンを私たち現代の教会も模範とし、福音を宣べ伝えたいものである。

2. パウロ短期ビジョン（援助「コイノニア」の実践）25節～29節

パウロは長期計画で最終目的は「地の果てまでの伝道」であった。その実現に向け更なる一步を踏み出した。それは、長期ビジョンを実現するにあたっての短期ビジョンを語っている。長期ビジョンである「地の果てまでの伝道」の前に、やらなければならないことがあった。それは、エルサレムのユダヤ人クリスチャン達を助ける事であった。その内容は、この地域を襲った飢饉による苦しみとそれに加え、ユダヤ人クリスチャンは、他のユダヤ人から迫害を受け職も失うなどの差別により苦しんでいたからである。そこで、パウロは経済的余裕があり飢饉の影響を受けていなかった異邦人教会に支援を訴えたのであった。

その訴えに手を挙げたのが、26節のマケドニアとアカイアのクリスチャンたちであった。エルサレムのクリスチャンたちを喜んで援助をする決断をし、感謝と喜びをもって献金を用意したのです。これに対してパウロは、ユダヤ人クリスチャンたちに対してそのようにする義務があったと語った。それはなぜなのか？そもそも、異邦人は神の民であったユダヤ人たちに、神の哀れみのゆえにイエスキリストを通して加えていただいた存在であったからである。神の偉大な救いの計画が御言葉の約束通り、異邦人たちにも伝えられ、沢山救われる方が起こされたのである。異邦人クリスチャンたちは霊的なものを神の恵みとしてただで、いただいたのであるから、物質的なものをもって恩返しをする時であるとパウロは語ったのである。

26節で「喜んで援助をすることにした」とあるが、援助と言うとお金だけのイメージ強いが、この援助と訳されているギリシャ語は「コイノニア」と言う単語が使われている。これは、訳すと「交わり」と訳す言葉なのである。ですから、喜んで交わりを持ち助けたいという意味が込められていたのであった。パウロはただお金を渡すだけではなかったのである。またこの個所のギリシャ語を直訳すると、「エルサレムの中の貧しい聖なる人々の中に入って交わりを持つことにした。」と訳せるのである。ですから、パウロが実践した援助は、ただ献金を届けるだけではなく、その人々の中に入って交わりを持ち、祈り合い励ますことも含んでいたと想像できるのである。だからこそ、実際にパウロは、伝道旅行でエルサレムに献金をじきじきに届け交わりをも大切にしたのである。

3. パウロ祈りの要請 30節～33節

パウロは、キリストと出会い回心して以降、プライドを捨て素直に祈りを要請できるものへと変わっていた。

また30節の祈りの要請は、言語から直訳すると「兄弟たちよ。私たちの主イエスキリストと御霊の愛によって懇願します。私の為に共に祈りによって一緒に戦ってください」と言う意味が含まれているのです。ですから、私たちにも必要なことは、祈るということは、共に戦うということなのです。

●まとめ

★「福音宣教に必要なものは？」

1. 長期ビジョン。神の最終目的「地の果てまで福音を」を目的とする。
2. 短期ビジョン「交わりと援助の実践（宣教協力）」をする。
3. 一人でやろうとせずプライドを捨て多くの人に祈っていただく。

原市場聖書教会牧師 若村和仁

報 告

- ★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。
- ☆体調不良の方は、礼拝出席を無理せず zoom にて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。
- ☆9月に入っても感染拡大が心配されます。礼拝中の賛美ですが、番数を減らし礼拝をお捧げしたいと思います。ご理解ご協力お願いいたします。
- ★9月以降の予定
昼食は9月中もお休みいたします。zoomでの礼拝中継はしばらく継続する予定です。
- ★礼拝以外の集会予定
 - ・次回こひつじタイムは10月6日(火)です。
 - ・次回赤毛のアンは10月13日(火)です。
- ★9月26日(土)当教会にて本多翔兄、森山優美姉の結婚式がご親族のみで執り行われます。天候が守られ、式が祝されますよう、お祈りをいたします。

9月の誕生日

9月14日 若村祐歌ちゃん

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・9月23日～9月25日(水～金) NPO 法人あまやどり奉仕 (場所：高麗聖書教会)
- ・9月24日(木) hi-b.a. 木曜合同集会 (会場：オンラインにて)
- ・9月25日(金) hi-b.a. 金曜合同集会 (会場：オンラインにて)
- ・9月26日(土) 翔兄、優美姉結婚式 (会場：原市場聖書教会)

本日午後の予定

☆礼拝後昼食会はありませんが自家焙煎珈琲をご用意しています。
ご自由にお交わり下さい。

次週(9月27日<日>)

司 会：本多崇兄
聖 書：ローマ16章17節～27節
説 教：「善にはさとく、悪にはうとく」若村和仁師
奏 楽：本多こずえ姉
讃 美：「セドミー」 今月の賛美「ゆるがない岩」
聖歌195、聖歌236、聖歌201、聖歌383
受 付：渡辺恵姉 献金感謝祈祷：本多祐子姉

先週の名集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
9月13日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3人	5人	13人	21人
		(礼拝はオンライン参加者4名を含む)			
	夕 礼 拝		お休みでした。		
9月16日(水)	祈 り 会		1人	2人	3人

集会案内

9月23日(水)	祈 り 会	10:30～12:00頃
9月27日(日)	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

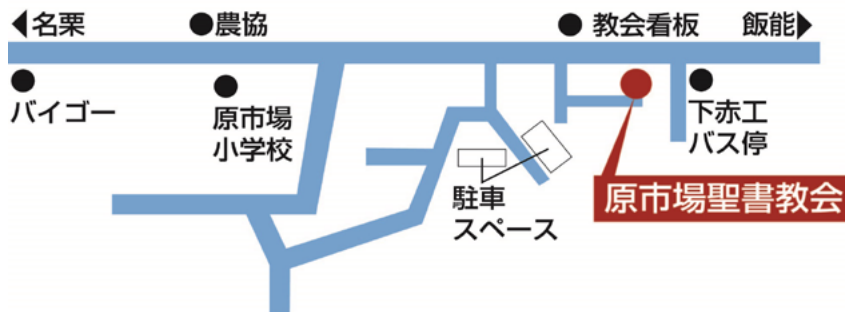
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁